

さわやか広場

～みんなあつまれ～



〒036-0233

青森県平川市日沼樋田85番地 TEL 0172-43-5432 FAX 0172-43-5433

社会福祉法人	直心会	理事長	花田 昭子
特別養護老人ホーム	さわやか園	園長	池内 善次郎
サービスセンター	さわやか園		
在宅介護支援センター	さわやか園		



関連記事は二面に

一月八日に行われた「餅つき会」の様子です

一昨年において、介護保険報酬単価改定や介護事業に関して様々な見直しが行われたことにより、介護保険制度を取り巻く環境が大きく変化し、事業者としての経営環境が大変厳しくなっております。

このような中で、法人は開設8年目を迎えますが、介護保険施設として、ご利用者やご家族の要望に適切に応え、満足感を得る事ができる効果的・効率的な施設サービスの提供を基本に、地域高齢者福祉の進展に寄与することや、社会福祉法人の自ら果たすべき役割を認識し、満足度の高いサービスを提供するための運営を行う所存であります。

また、法人は、より一層の情報公開につとめ、地域の関係機関との連携強化を図るとともに、前年度に引き続き、ご利用者やご家族、地域住民の方などに対して、当法人の「経営理念」や「行動規範」について、より一層啓発活動につとめ、その実現に向けて役職員が一丸となって取り組みます。

最後に介護報酬の減額・受託事業の削減等ありますが、経営の安定を図るために、経費の節減に努力し、運営改革を更に進め充実したサービス・独自のサービスの提供を実施しご満足頂ける施設づくりを目指します。

事務長 花田 寛之

十・十一・十二月誕生会 &クリスマス会



十二月十五日、毎年恒例の「十・十一・十二月誕生会&クリスマス会」が施設内地域交流スペースにて行われました。

誕生会では、誕生日の方々が紹介され、園長からプレゼントが贈呈されました。プレゼントを受け取った利用者の皆さんからは笑顔がみられました。

そして今回もはすね保育園の皆さんがお祝いの踊りを披露してくれました。艶やかな着物を着た女の子達は、しっとりとした踊り、袴姿の男の子達は、刀を振りかざした勇ましい踊りをそれぞれ見せてくれました。素敵な踊りのお祝いを貰った利用者の皆さんからは拍手が沸き起こっていました。



次に、施設の職員による余興が始まりました。ひげダンスの軽快な音楽とともに、ジャグリング（輪投げ）が行われ、見ていた皆さんから、「頑張れ！もう一回！」など大きな歓声と手拍子が響き、とても盛り上がりました。

職員による余興の興奮も落ち着いてきたころ、クリスマスソングが聞こえてきました。そこへ登場したのは津軽弁を話すサンタクロースです。大きな白い袋を担いだサンタクロースは、中から沢山のプレゼントを取り出して利用者や園児に一人一人手渡してくれました。プレゼントを貰った皆さんは、とても喜んでいました。

最後まで楽しい雰囲気誕生会&クリスマス会でした。たくさん笑いの声が聞かれ、とても印象深い会となりました。来年のクリスマス会もとっても楽しみです。ね♪

(特養介護職員 館山 由希恵)

餅つき会

一月八日、さわやか園地域交流スペースにおいて、特養・デイサービス合同で「餅つき会」が行われました。

園長の挨拶の後、賑やかに餅つき会が始まりました。臼と杵が二組用意され、まず職員がつき手を担当しました。利用者からの威勢のいい「ヨイショ！ヨイショ！」の掛け声に合わせて力強く杵を振り下ろして行きました。また利用者からも、つき手とあいどりへの参加があり、柔らかくて美味しそうな餅がつきあがっていました。

つきあがった餅は、デイサービス利用者や入所者のご家族にもお手伝いしていただき、和やかな雰囲気で、素早く小さく丸められました。そして、おしるこやきな粉餅にして、会場にいた皆さんに振舞われました。

利用者の美味しい美味しいという声がかかれ、また、満面の笑みがみられて、とても楽しいひとときを過ごすことができました。

(特養介護職員 小野 富美子)



一・二・三月誕生会
& ひなまつり



三月一日(土)施設内地域交流スペースにおいて、「一・二・三月誕生会&平成一九年度ひなまつり」が行われました。

はじめに、一・二・三月生まれの誕生者へプレゼントを贈り、全員でパースデイソングを唄いました。祝福された誕生者の皆さんはともうれしそうな様子でした。

続いて「ひなまつり」にうつり、桃の節句にまつわるお話や、歌と共にスタートしました。そして当日のメインともいえる、さわやか園の園長が率いるバンド『ミュージックフィクション』の生演奏となりました。曲目は、石原裕次郎の「ブランデーグラス」、美川憲一の「柳ヶ瀬ブルース」など、昭和四十〜五十年代のヒット曲を中心に、数々の名曲を聞かせてくれました。利用者の皆さんも生き生きとした表情で、自然に手足でリズムをとるなどして、楽しいひとときを過ごしていました。

利用者の皆さんは、共通して音楽や歌が好きな様ですネ!次の機会があれば、また是非素敵な演奏を聞かせていただきたいものですネ!

(特養介護職員 三上 真由美)



シートベルト着用について

平地では例年になく早々と雪も消え、いよいよ春の行楽シーズン到来という気持ちになる今日この頃です。

さて、皆様ご存知でしょうか。道路交通法の改正により、六月から後部座席のシートベルト着用が運転席・助手席同様に義務化されることとす。

事故の際、非着用者の致死率は着用者の約四倍。また非着用者の場合、後部座席同乗者が前席乗員に衝突することにより、前席乗員が頭部に重症を負う確率が、着用の場合の約五十一倍にも増大するといった調査結果があり、シートベルト着用率の低さは問題となっています。

諸外国の場合、多くはす

でに後部座席同乗者にシートベルト着用が義務化されており、日本でもそれに倣うように、義務化に踏み切ることとす。

違反をしたドライバーに対しては、点数(一点)の加点処分となります。尚、当面は高速道路の運転中に限り、点数処分を適用する予定のこととす。

シートベルトは我が身を守るためのもの。備えあれば憂いなしですね。

(特養運転技能員 田中 清隆)



大切なもの

左目に違和感を憶えたのは、入院する三日前の事だった。

視界は徐々にぼやけ、ゆがみが強まると左目はほぼ何も見えない状態になった。

行動が制限される入院生活において、片目で見ると世界はいつもと違って見えた。そこでは普段味わう事の無い感情が溢れてくる。

三度の食事のありがたさ、水の美味しさ、爽快なシャワー、ビルの屋上に群がるカラスの不気味さ、色鮮やかな花の枯れた醜さ、淡い空の美しさ、友人や同僚、家族の温かさ:

ただ繰り返される毎日の中にと、自分がどれだけ素晴らしいものに囲まれているのか、なかなか気付くことができなくなる。

『本当に大切なものは、遠く離れてみないと見えないものである』

使い古されたこんな言葉も、今回の入院でその意味の深さを実感した。

幸いにも症状は回復傾向にあり、一ヶ月余りの入院生活ではあったものの、そこでは色々な事を学び、多くを感じ得る事ができた。

今後は、ささやかな幸せや、ちょっとした喜びを常に意識し、「今この時」を大切にしたいと思う。そして何事にも前向きに取組み、楽しく充実した日々を過ごしたい。

平凡な毎日でも何気ない時間も、遠く離れてみないとその大切さに気付かない。その事を知っている人は、今の自分がどれだけ幸せであるのかを実感する事ができる。

この事を忘れそうになった時、片目を瞑り外を眺めたいと思う。

(特養事務員 森内 卓爾)



新任職員紹介



- ① 特養 介護職員
- ② 平井 拓
- ③ 35歳
- ④ 映画鑑賞・サッカー
- ⑤ つぶらな瞳！
- ⑥ 笑顔を絶やさず頑張ります

- ① 所属・職種
- ② 氏名
- ③ 年齢
- ④ 趣味・特技
- ⑤ チャームポイント
- ⑥ 自己PR

- ① 特養 介護職員
- ② 太田 晶子
- ③ 22歳
- ④ 献血・走り幅跳び
- ⑤ まゆげ
- ⑥ マイペースで頑張ります!!

餅つきはまかせて！



鬼は外！



ケーキ作りに挑戦



デイサービス園内活動



さわやかクイズの答えがわかった方は、第1問から第3問までの解答と、住所・氏名・電話番号を明記の上、ハガキ又はFAXにて表紙連絡先までお送り下さい。正解者の中から抽選で10名様に、さわやかなプレゼントを用意いたします。

なお、締切りは4月30日(水)必着とさせていただきます。また、当選者の氏名は広報誌さわやか広場に於て発表になることを予めご了承下さい。

第1問 今年の「誕生会&クリスマス会」に沢山のプレゼントを持って登場したのは、英語を話すサンタクロースである。

- ① ○ ② ×

第2問 バンド「ミュージックフィクション」を率いているのは、さわやか園の園長である。

- ① ○ ② ×

第3問 事故の際、シートベルト非着用者の致死率は着用者の約四倍である。

- ① ○ ② ×

☆ヒント: 答えは広報誌のどこかにあります。

さわやかクイズ

前回クイズの正解者

- 葛西 照子様 工藤 洋子様 福士 きみ様 古川 イヨ様 菊地 テツエ様
 岩渕 ツナ様 工藤 セコ様 森山 かおり様 齊藤 光子様 小舘 麻佑様

以上の方に粗品をお届けしました。ご応募ありがとうございました。

前回クイズの解答

第1問 : ① ○

第2問 : ② ×

第3問 : ② ×

